

2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月12日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-systems.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 泰博
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土谷 稔 (TEL) 048-845-2200
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	7,218	18.1	504	63.2	509	64.8	348	68.9
18年3月期第3四半期	6,110	1.8	308	7.1	309	8.5	206	10.7

(注) 包括利益 19年3月期第3四半期 299百万円(39.9%) 18年3月期第3四半期 214百万円(△5.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	235.41	—
18年3月期第3四半期	139.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
19年3月期第3四半期	6,670	4,534	68.0
18年3月期	7,332	4,382	59.8

(参考) 自己資本 19年3月期第3四半期 4,534百万円 18年3月期 4,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
18年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
19年3月期	—	0.00	—	—	—
19年3月期(予想)	—	—	—	90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,450	△1.8	571	△14.8	573	△14.2	411	△8.2	277.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	1,480,000株	30年3月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	287株	30年3月期	287株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	1,479,713株	30年3月期3Q	1,479,713株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用情勢の改善により緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、今後の景気の先行きについては、米中の貿易摩擦や中国経済の減速など世界経済の不確実性が懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、企業における効率化や生産性向上を目的とした投資意欲の高まり等により、ソフトウェア投資は引き続き堅調に推移するものとみられます。

このような状況のもと、当社グループは20中期経営計画（2018年度～2020年度）の基本方針に従って、主要事業の推進に取り組みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、機器等販売、ソフトウェア開発、システム販売、システム運用・管理等のセグメントで増加し、7,218百万円（前年同期比18.1%増）となりました。損益につきましては原価の低減等により、営業利益504百万円（同63.2%増）、経常利益509百万円（同64.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益348百万円（同68.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①機器等販売

売上高は機器販売やパッケージソフトウェアの増加等により増収となり、1,459百万円（前年同期比29.6%増）となりました。セグメント損益は売上高の増加及び販売費の減少により、88百万円の利益(同59.6%増)となりました。

②ソフトウェア開発

売上高は開発案件とERP案件の増加により増収となり、1,035百万円（前年同期比31.1%増）となりました。セグメント損益も売上高の増加と生産性向上等により、214百万円の利益(同45.0%増)となりました。

③システム販売

売上高は画像処理システムや医療システム、インフラサービスの増加等により増収となり、2,373百万円（前年同期比27.0%増）となりました。セグメント損益は売上高の増加により、296百万円の利益(同21.3%増)となりました。

④システム運用・管理等

売上高はデータセンタ業務の増加等により増収となり、2,349百万円（前年同期比1.0%増）となりました。セグメント損益は売上原価の低減により、740百万円の利益(同10.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10.6%減少し、4,225百万円となりました。これは、主に現金及び預金が317百万円、仕掛品が301百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,077百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.2%減少し、2,445百万円となりました。これは、主に投資その他の資産その他に含まれている投資有価証券が77百万円、無形固定資産が43百万円、有形固定資産その他に含まれている工具器具及び備品が29百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて9.0%減少し、6,670百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて31.3%減少し、1,789百万円となりました。これは、主に買掛金が461百万円、賞与引当金が171百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.1%増加し、346百万円となりました。これは、主に固定負債その他に含まれている長期前受収益が14百万円減少したものの、固定負債その他に含まれているリース債務（固定）が9百万円、退職給付に係る負債が3百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて27.6%減少し、2,135百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、4,534百万円となりました。これは、主に株主配当金の支払が147百万円あったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を348百万円計上したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、通期の業績予想につきましては、2018年5月14日に公表した予想に変更はありません。

当連結会計年度（2019年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高9,450百万円、営業利益571百万円、経常利益573百万円、親会社株主に帰属する当期純利益411百万円を見込んでおります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、経済情勢、事業運営における内外の状況変化等により、予想値と異なる場合があります。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	953,100	1,270,865
受取手形及び売掛金	2,712,516	1,635,032
リース投資資産	401,841	387,403
商品及び製品	73,549	70,176
仕掛品	449,997	751,785
原材料及び貯蔵品	29,642	39,125
その他	107,764	73,192
貸倒引当金	△3,007	△2,562
流動資産合計	4,725,405	4,225,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	644,801	614,967
土地	531,977	531,977
その他（純額）	433,457	395,103
有形固定資産合計	1,610,236	1,542,048
無形固定資産	366,254	322,941
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	202,379	207,149
その他	463,988	412,003
貸倒引当金	△35,910	△38,681
投資その他の資産合計	630,458	580,470
固定資産合計	2,606,948	2,445,460
資産合計	7,332,354	6,670,480
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,069,600	608,449
短期借入金	-	100,000
未払費用	272,143	260,120
未払法人税等	124,858	51,064
賞与引当金	332,961	161,921
受注損失引当金	2,210	6,675
アフターコスト引当金	45,718	28,226
その他	755,812	572,797
流動負債合計	2,603,306	1,789,254
固定負債		
退職給付に係る負債	8,917	12,837
その他	337,530	333,787
固定負債合計	346,447	346,625
負債合計	2,949,753	2,135,880

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	3,282,500	3,482,866
自己株式	△462	△462
株主資本合計	4,299,859	4,500,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	144,723	90,762
退職給付に係る調整累計額	△61,982	△56,388
その他の包括利益累計額合計	82,741	34,374
純資産合計	4,382,600	4,534,600
負債純資産合計	7,332,354	6,670,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	6,110,151	7,218,230
売上原価	4,566,926	5,432,385
売上総利益	1,543,224	1,785,845
販売費及び一般管理費	1,234,354	1,281,813
営業利益	308,870	504,032
営業外収益		
受取利息	7	10
受取配当金	4,495	4,544
受取手数料	1,524	2,038
受取保険料	3,179	205
補助金収入	11,332	1,577
その他	2,215	1,387
営業外収益合計	22,756	9,764
営業外費用		
支払利息	1,011	1,409
売上割引	1,678	1,677
支払手数料	1,312	905
貸倒引当金繰入額	10,000	-
事務所移転費用	8,216	-
その他	322	288
営業外費用合計	22,540	4,281
経常利益	309,085	509,514
特別利益		
固定資産売却益	280	-
特別利益合計	280	-
特別損失		
固定資産除却損	737	1,124
特別損失合計	737	1,124
税金等調整前四半期純利益	308,628	508,390
法人税等	102,348	160,052
四半期純利益	206,279	348,337
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	206,279	348,337

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	206,279	348,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,372	△53,960
退職給付に係る調整額	4,787	5,594
その他の包括利益合計	8,159	△48,366
四半期包括利益	214,438	299,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	214,438	299,970
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年5月12日 取締役会	普通株式	125,775	85	2017年3月31日	2017年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月14日 取締役会	普通株式	147,971	100	2018年3月31日	2018年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア 開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,126,120	790,171	1,868,498	2,325,360	6,110,151	—	6,110,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,941	2,845	30,183	43,970	△43,970	—
計	1,126,120	801,112	1,871,343	2,355,544	6,154,121	△43,970	6,110,151
セグメント利益	55,523	147,940	244,235	671,854	1,119,553	△810,683	308,870

(注) 1 セグメント利益の調整額△810,683千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア 開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,459,483	1,035,999	2,373,648	2,349,099	7,218,230	—	7,218,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,897	1,023	36,343	40,263	△40,263	—
計	1,459,483	1,038,897	2,374,671	2,385,442	7,258,494	△40,263	7,218,230
セグメント利益	88,595	214,570	296,197	740,623	1,339,987	△835,955	504,032

(注) 1 セグメント利益の調整額△835,955千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。